

2025 年 5 月 19 日

(株)トライアルホールディングス

【2025 年 6 月期 第 3 四半期決算説明会 質疑応答要旨】

決算説明会における質疑応答の要旨を記載しております。

ご理解いただきやすいように、内容の一部を加筆修正しております。

Q: 粗利率の改善について。通期計画を踏まえると第 4 四半期（3 ヶ月間）において大幅な粗利率改善が必要となる。従前から粗利改善施策が進んでいると思うが、今回はどのような方針で改善するのか。現場における徹底力や実現可能性を確認したい。

A: 第 4 四半期の粗利率の計画は、第 3 四半期（3 ヶ月間）の粗利率が前年同期比で 0.4pt 改善したこと及び 2025 年 4 月度の粗利率上昇実績を鑑みて設定したものである。決算説明会資料 28 ページのとおり、2025 年 2 月以降に先行して粗利改善施策を実験した 16 店舗において良い結果が得られており、全店に当施策を拡大することで全体の粗利率改善に大きく貢献すると見込んでいる。

Q: 店舗では価格改定による売上減少への不安はないか。また、どのようにフォローアップするか。

A: 上場前の当社は利益よりもトップラインの成長を重視し、「安さ」でお客様に喜ばれることを最優先に考えてきた。上場を機に投資家と対話する中で、上場企業として、売上高成長に加え、利益を創出する体制となるべく転換を図っている。ただし、価格改定によって粗利率が改善する一方で、一時的に客数や買上点数が減少し、既存店売上高の増加幅が緩やかになることが見込まれる。店舗においては一時的な売上減少への覚悟が必要であるが、IT を祖業とする当社の強みを活かした社内プラットフォームを活用し、本部と現場をつなぎ、例えば、本部が各店舗の成功・失敗事例などを分析し、全店に共有・展開することなどでフォローを行っている。

Q: 粗利改善の実験は効果が出ており、今後の粗利の大幅な改善に期待したいが、懸念点は消費者の反応。客離れのリスクがある中で、値上げイメージを与えず、きめ細やかに対応できるのか。どのようにお客様をフォローするのか。

A: 価格の表示方法変更や改定に対するお客様からのフィードバックが集まってきている。単に価格を改定するのではなく、お買い得感を維持する価格設定やお客様とのコミュニケーションを重視している。具体的には、商品の価値を分かりやすく伝える POP の活用や棚替えを進めている。また、価格を改定する中、牛乳や納豆など購買頻度が高い食品は値下げをするなど、お客様のニーズに応じてバランスを取っていく。

Q: 業績予想を下方修正した要因の一つは、人件費の増加であると考えている。今後、人時生産性の改善を目指すにあたり、具体的に取り組んでいることは。

A: 第3四半期までの人件費が増加した要因は、新規出店数の増加及び賃金相場上昇に伴うパート給与の単価増。レイバースケジューリングの精緻化を進めている。また、生産性向上を図るため、効率化策を進めている。

Q: 粗利改善施策の進捗について。4月までの実験店舗 16 店における粗利改善の手ごたえはどうか。

A: 施策導入の実験からまもなくして、成果の即効性を確認しており、価格改定による販売動向の変化を見極めながら、導入店舗の拡大を進めていく。

Q: 2025 年 4 月度の既存店売上高成長には、粗利改善施策の結果が反映されているのか。来期以降の既存店成長はどうか。

A: 粗利改善施策が既存店売上高に本格的に影響を与えていくのは 5 月からとなり、既存店売上高の成長率はこれまでよりも緩やかになる見込み。2025 年 6 月期の修正後計画では、通期 103.4%、下期 103.1%としている。4 月の実績は前年同月比 3.8%増であったが、5 月は粗利が上がる分、既存店売上高成長率は緩やかになる見通し。

Q: 中期的な成長の考え方について。上場時から「10%増収、20%増益、毎年0.5ptの粗利改善」という成長ストーリーを掲げていたが、今後も維持するのか。

A: インフレの進行や、現時点における当社の企業体力を総合的に考慮すると、一定の見直しが必要な状況だと考えている。8月に発表を予定している来期の業績予想において、現実的な見通しと方向性を示したい。

Q: 今後の出店戦略についての見通しは。

A: 出店数は、2025年6月期は35店舗、2026年6月期は、スーパーセンターを中心に約30店舗を見込んでいる。また、都市型小型業態であるTRIAL GOは福岡県内で実験が進んでおり、西友統合後は、都心一等地への進出を構想している。ただし、客層や用地確保には地域差があるため、福岡県の実験モデルを単純に展開することはできないと考えており、慎重に検討していく。

Q: 第4四半期に約30億円の店舗減損を見込むとのことだが、今後の見通しは。

A: 期初計画の13億円を約30億円に修正した。来期以降は従前どおり10～15億円の減損を見込んでいる。

以上